

3 2013
月号

やまつり

No.624



6次産業で試作中の置物
甚右衛門の「福幸ひょうたん」



住んでみたい 住み続けたい やまつり町

主な内容

- 特集～新たなビジネス 6次産業に挑む～ P2～P11
- 商工会青年部主張発表全国大会 押田洋平さん P12～P13
- 平成23年度 行政コスト計算書 P14～P15



販売

加工

農業

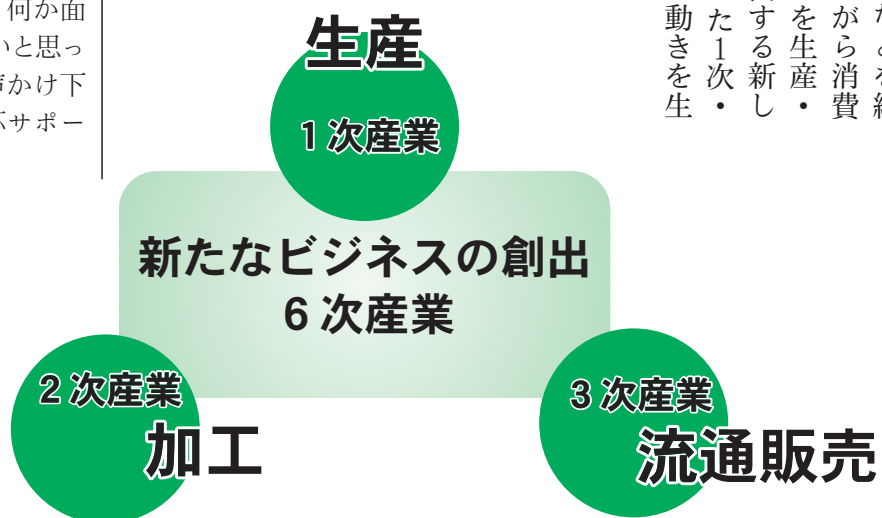


矢祭町役場 事業課
高橋竜一産業グループ長

「6次化」と聞くと、いかにも都市然として近寄りたく感じますが、要するに「異業種が集まれば、新しいアイデアが生まれる!」ということです。やる気と夢さえあれば誰でも取り組めます。何か面白いことをやってみたいと思っている方は、是非お声かけ下さい。役場でも精一杯サポートします。

6次産業とは?
6次産業とは、1次産業である農業をベースに、2次産業（加工）、3次産業（販売、交流・観光）などを総合的に展開し、地域の自然や文化も取り込みながら消費者のニーズに沿った地域独自のモノやサービスを生産・提供することで付加価値の高い商品などを創出する新しい産業です。6次産業化はこれまで交流のなかった1次・2次・3次産業の人々が連携し、地域に新しい動きを生み出す「力」として期待されています。

※6次産業という名称は、農業本来の第1次産業だけでなく、他の第2次・第3次産業を取り込むことから、第1次の1と第2次の2、第3次の3を足し算すると6になることをもじった造語である。



あの光はなんだろう
それは小さな灯火だった
すべての挑戦が町の灯火なのだ
小さな灯火もやがて大きな炎となる
それこそが地域づくりではないだろうか…



特集

新たなビジネス
6次産業に

挑む

special edition

- 第1章 (4ページ〜7ページ)
◆若者たちの挑戦
- 第2章 (8ページ〜9ページ)
◆つくり手の思いが笑顔にかわる時
↳矢祭もつたいない市場
- 第3章 (10ページ〜11ページ)
◆6次産業の応援団

若者たちの挑戦

第1次産業である農業の衰退が懸念されている日本。本町も例外ではない…。そんな故郷矢祭町に帰り家業を継ぐ若者たち。職種の枠を取り払い仲間のつながりを大切に、現状に満足することなく、新たな開拓と情熱に胸躍らせる若者たちを紹介します。



甚右衛門は私の先祖様の名前なんですよ

「とりあえずつくってみっぺ。」と笑いながら話す甚一郎さん。高校、専門学校と進み、25歳の時に地元矢祭町に帰ってきた。コンビニエンスストアの経営を行う傍ら、農業に興味を持ち、28歳の時に、現在の農業生産法人有限会社甚右衛門を設立した。

「甚右衛門は、私の先祖様の名前なんですよ。だから重みを感じますね。」とうれしそうに教えてくれました。

うちの魅力は土から育てていること

当初は大根、レタスなどの市場出しをメインにスタートした。2年後には数箇所の契約農家として規模を拡大している。

「うちの魅力は、自社で肥料をつくり、土から育てていることです。何でも育つ場所の環境が良くないと良いものはつくれませんから。」

現在はミニトマト「アイコ」をメインに出荷し、インターネット販売で販路を拡大、楽天トマト部門第1位にまで成長している。また「アイコ」を使った6次産業化に成功している。

「生産から加工、流通販売を連携して行う6次産業化で、地域の仲間との連携ができるんですよ。それがこの甚右衛門トマトピューレです。業種の枠を超えて、地域の仲間が交流や情報交換など切磋琢磨できるんです。」

今まで交流のなかった産業が連携することで、商品一つで地域の新しい「力」を生み出す。また、仲間のつながりを強く感じるという。

新たな「挑戦」

「かわいいでしょう。」と見せてくれた、秀吉で有名な千成ひょうたん。「愛着のある形と縁起物として知られるひょうたんを使っての置物を試作中なんです。実は、ある民芸店でひょうたんを見て、ひらめいたんです。これも生産から加工・販売を連携している6次産業なんですよ。ひょうたんを栽培し乾燥させ、中身を取り出して磨く。プリントは私の仲間によってもらってます。」

事務所にはたくさんの試作品が飾ってある。現状に満足せず、何事にも挑戦してみる、その開拓の精神を聞いてみた。

「とりあえずやってみっぺなんですよ。一歩踏み出さないと、そこに道はできませんからね。」甚一郎さんの飽くなき挑戦は続く。



ミニトマト「アイコ」に囲まれて仕事をする甚一郎さん

農業の枠を超えた、仲間とのつながりを大切に、「開拓」の気持ち忘れず挑戦しています

農業生産法人（有）甚右衛門
高信甚一郎さん(36)



jinchirou

talk amitsuu



丸越製菓 布川 孝光さん(36)

もち米づくりから加工販売まで 矢祭町のいちごやゆずを使い 地元の特産品をPRをしています

やっぱり故郷はいいですね

「震災の翌月に帰って来たんです。今から2年前の3月11日、あの東日本大震災が発生。その翌月に孝光さんは故郷矢祭町に帰って来ました。「よくみんなに言われるんです。よく帰ってきたねって。原発事故の影響で故郷福島県を離れる人が多い中、東京から福島県に帰って来ましたから・・・。やっぱり故郷はいいですね。」と当時を振り返る孝光さん。

「震災の翌月に帰って来たんです。今から2年前の3月11日、あの東日本大震災が発生。その翌月に孝光さんは故郷矢祭町に帰って来ました。「よくみんなに言われるんです。よく帰ってきたねって。原発事故の影響で故郷福島県を離れる人が多い中、東京から福島県に帰って来ましたから・・・。やっぱり故郷はいいですね。」と当時を振り返る孝光さん。

6次産業をとおして各家庭の食卓にお届けしたいです

矢祭山の特産みそ団子や季節菓子の柏餅、各種ケーキなど丸越製菓では多種のお菓子を製造販売している。しかし、近年の食への関心や流れが大きく変わってきた。

「今、お客様の食に対する要望が変わってきました。それは「安全安心」です。地元の食材を地元で消費する地産地消が大事です。私も餅米づくりから加工販売と6次産業を行い、矢祭町のいちごやゆずを使い地元の特産品PRも行っています。震災での風評被害は大変残念でなりません。地元の農家が丹精込めてつくっていた農産物ですから、6次産業をとおして各家庭の食卓にお届けしたいです。」

孝光さんのお店には、いちご大福

地元の商工会青年部活動

孝光さんは地元の矢祭町商工会青年部に所属している。「現在、地元の商工会青年部で活動をしています。入部した時の青年部員の第一印象は、みんな矢祭町が大好きで何とか町を良くしようと思っっている人達がたくさんいるのに正直驚きました。青年部活動はとても楽しく参加しております。仲間とのつながりが大切ですね。」
大好きな矢祭町と仲間を思う、若者らしからぬ職人気質の孝光さんに注目です。

孝光さんのお店には、いちご大福

「もったいない市場」への準備をする孝光さん(手前)と妻の賀津子さん(奥)



地元の素材と技術を結集して一つのものを作り上げる

雄一さんは高校を卒業後、デザインの専門学校に進み、26歳の時に矢祭町に帰り、家業であるアートポップマシコで働いている。

「故郷に帰ってきて、まず印象に残ったことがあります。それは、情報の共有化が無いことです。地元にお宝があるのに、わざわざ遠い所から情報を仕入れている。近くで作れるメリットは知っていても、その情報を共有化できてないんです。」

情報化社会といわれている現代において、地方はまだ遅れていると話す雄一さん。

「うちは昔ながらの看板だけをつくる看板屋と思われていました。他にもステッカーや各種プリントを手がけています。まずは、仲間との情

報交換、共有化が大切ですね。地元の素材と技術を結集して一つのものを作り上げる6次産業は魅力です。このひょうたんのレーザー彫刻はうちの技術なんですよ。」と自慢げに見せてくれる雄一さん。たしかに、この技術を共有化できたら、すばらしい物づくりができるかと実感した。

雄一さんの仕事場には、たくさん興味深い商品があった。

次々と新しい発想と挑戦を繰り返す

「これは、樹脂加工のステッカーです。従来のステッカー業界はマンネリ化が進んでいました。ある展示会でこの樹脂加工、立体的なステッカーに出会いました。多種多様な用途に使用でき、加工が容易で長持ちして天候等にも左右されない、この樹脂加工ステッカーをはじめしていま

す。スマートフォンのカバーやアクセサリー等にご利用いただいております。」

次々と新しい発想と挑戦を繰り返す雄一さん。若い「力」と「時」がまぎれもなく地域を支えている。雄一さんに町づくりについて聞いてみた。

「私はデザインが専門ですので、デザインを活用した町づくりができればと考えています。商工会で実施しているフラッグもその一つですね。」
雄一さんのデザインがきっと町民の心に火をつけてくれる。矢祭町の自然こそが最高のデザインかもしれませんね。



ひょうたんのレーザー彫刻を確認する雄一さん

故郷に帰ってきた時

情報の共有化が必要だと思った

デザインで町おこしをしたいです

アートポップマシコ 増子 雄一さん(29)



yuuichi



平成21年7月に矢祭町特産品協会（高信一則会長）が、東京品川駅前にアンテナショップ「矢祭もったいない市場」を開設しました。町の特産品を知ってもらうことによる町のPRはもとより、農業や商業だけに留まらず、すべての地元産業の活性化に繋がることが期待されています。

現在では、毎週日曜日と隔週水曜日の月6回が基本となり、品川の「東横イン」、毎日新聞社東京本社、武蔵小山「清水湯」の御協力をいただいで開催しております。

【開催日】

- 毎月第1・第3日曜日 品川「東横イン」
- 毎月第2・第4日曜日 武蔵小山「清水湯」
- 毎月隔週の水曜日 毎日新聞社本社



第2章 つくり手の思いが笑顔にかわる時

矢祭もったいない市場

6次産業の最終章と言える流通販売
その舞台となる「矢祭もったいない市場」
生産者がお客様の声を肌で感じ、つくり手の思いが笑顔にかかります



生産者はお客様と向き合うことが大切です

ましこ まさよ
増子正代さん
しいたけ農家 茗荷地区



お客様にごぼうを使った料理の仕方を丁寧に説明する正代さん

消費者の意見を肌で感じるができます

この日の取材は「矢祭もったいない市場」。コンテナ40箱分の新鮮野菜など、生産者の思いをのせて、朝6時すぎに矢祭町を出発しました。

今日は毎日新聞社東京本社での開催です。毎日新聞社では「MOTTAINAI(もったいない)キャンペーン」を推進していることもあり「MOTTAINAIステーション」が本社の中に併設してありました。その一角をお借りし、最高の場所と素晴らしい特産品が揃い、販売がスタートしました。「たくさんのお客さんでしょう。」

常連のお客さんもたくさん来ていただいで、うれしいですね。」と忙しい合間に豊田剛販売員が話してくれました。

午前11時から午後5時30分までの開催時間ではほぼ完売し、お客様のあたたかい励ましの言葉や満面の笑顔に人と人とのつながりの大切さを実感することができました。

震災直後の4月は矢祭町を応援しよう、いつもの2倍の売り上げがありました。しかし、その後の風評被害等により売り上げは落ち込みましたが、現在では震災前の9割まで回復しています。

「増子さくら」と呼ばれては、満面の笑顔で接客している女性。茗荷地区でしいたけ農家を営んでいる増子正代さんです。「月に1回、もったいない市場の販売を手伝っています。今では月1回の販売が楽しみになっていますよ。」と笑顔で答えてくれました。

販売をしてみても感想を尋ねてみると。「お客様の意見を直接感じることが出来ます。生産者は消費者と向き合うことが大切だと知りました。私はしいたけ農家ですが、他の特産品販売はとも参考になりますね。」

毎回、お客様の意見を参考に試行錯誤を繰り返す正代さん。常連客と正代さんとの会話の中の笑顔が、正代さんの人柄の良さを物語っていました。

これからも矢祭町、もったいない市場の 取り組みを応援していきます 矢祭町が大好きですから…



とがさわ ひでとし

斗ヶ沢 秀俊さん

毎日新聞社
水と緑の地球環境本部 本部長
東京本社編集編成局 編集委員
元毎日新聞社福島支局長

「新鮮な矢祭町のいちごはいかがですか。」と大きな声で販売をお手伝いしているのは、毎日新聞社の斗ヶ沢秀俊さんです。

斗ヶ沢さんは以前、福島支局長時にノーベル平和賞受賞者でワンガリー・マータイさんの提唱する環境保全と限りある資源の有効活用、地域温暖化防止の取り組みを通じ、世界平和を追求する「もったいない運動」を行い、その一貫として矢祭町の図書館建設にあたり、寄贈本の呼びかけを提案し、記事によって全国に呼びかけていただいた、いわば「矢祭もったいない図書館」の生みの親です。現在は東京本社勤務となり場所の提供も、品川で行っていることを知って、幾度の協議を重ね、本社での「もったいない市場」の開催実現に御尽力いただきました。

「もったいない市場」には2つの意義があると話す斗ヶ沢さん。

「一つは矢祭町の名前を広める、PRすることです。もう一つは物づくりをしている生産者が販売することによって、どういう物がニーズに合うのかを肌で感じることができる。つまり消費者が見えてくるんです。」

まさに、6次産業のメリットといえる産業の連携と交流。決して机の上では感じることでできない消費者の声を生で聞くことができる。

「これからも矢祭町、もったいない市場の取り組みを応援していきますよ。福島県、矢祭町が大好きですから。」と力強く答えてくれました。



6次産業の 応援団

～それは、たくさんの消費者です～



ふじむらかえこ
藤村佳詠子さん(浦安市在住)
毎日新聞社の関連企業に勤務

生産者がとてもいい表情をしています
思い詰まった特産品をつくって
いるなあと感じていきます

買い物かごいっぱい、新鮮野菜などを購入していただいた、浦安市在住の藤村さんに消費者の声を聞いてみました。

「いつも矢祭町の特産品は新鮮でとてもおいしくいただいています。ホームページを拝見すると、生産者がとてもいい表情をしていて、思い詰まった特産品をつくっているなあと感じていきます。」

毎回「もったいない市場」を楽しみにしているという藤村さん。

「矢祭町の現地に行って食べたら、もっとおいしくだろうね。機会があれば行ってみたいと思っています。これからも新鮮な特産品を提供してください。矢祭町、福島県を応援していますよ。」と笑顔で答えてくれました。

平成24年度商工会青年部主張発表全国大会
徳島大会2月6日・7日

優秀賞

全国2位

おしだようへい

押田洋平⁽³⁴⁾さん

感動をありがとうございます

2月6日・7日の2日間、徳島県徳島市で開催された、商工会青年部主張発表全国大会徳島大会に矢祭町商工会青年部の押田洋平さんが東北・北海道ブロック代表として出場しました。全国6ブロックの代表が集まり、約7万人が在籍する商工会青年部員の頂点を決める大会です。押田さんは1番目で主張発表を行い、トップバッターという緊張感のある中で、魂の込められた叫びを大観衆の前で披露しました。結果は、とても素晴らしい主張だっただけに惜しい2位の優秀賞でしたが、全国大会での2位はとてつもない偉業であり、矢祭町のPRはもちろんのこと、心に響く感動が復興福島に響きわたりました。

第2位 / 7万人
全国の商工会
青年部員数

魂^{たましい}の明かり
復興福島を
灯^{とも}る



大会を振り返って

この度は商工会青年部全国大会（徳島大会）の主張発表大会におきまして、商工会関係の皆様をはじめ、矢祭町民の応援してくださったたくさんの方々……本当にありがとうございます。私が県の代表、そして北海道・東北の代表に決まってから大会当日まで本当に長期にわたり支えて、応援してくださった皆様に心より感謝しております。改めて自分の発表映像を見返してみますと、あの時の緊張と興奮が今でも思い出されます。

私としてはこの感謝の気持ちをなんとか「てっぺん」という結果でお返しすることが最大の恩返しだと考えておりましたが悔しいことに結果は優秀賞……今も各方面から言われています……「2位じゃダメなんですか?」……なかなか思うようにはい

かないものですね……涙。ただ、自分の思い、存分に発揮できました! 少なからず我が矢祭町の熱き魂を伝える事ができたのではないかと感じております。悔いはありません。

ここまで来れたのも、ここまで自分らしく熱く発表できたのもやはり皆様のお支え、あたたかいお言葉があったからだと確信しております。同じ志を持った先輩方、地域の方々、そして仲間により感謝です。本当にありがとうございます。今回のこの主張発表を通して得たものを今後の自分自身の財産とし、今後の青年部活動に、そして私が住む愛してやまない矢祭町に生かしていきたいと思えます。本当にありがとうございます。今後ともよろしくお願い致します。

押田 洋平



福祉と教育に重点

平成23年度 行政コスト計算書

2月号で掲載したバランスシートは地方自治体の行政活動のうち、主に資産や負債などのストック状況を明らかにするものです。一方、地方自治体の行政活動は資産の形成だけでなく、人的サービスや給付サービスなど資産の形成につながらない行政サービスが多く比重を占めています。こうした資産形成につながらない行政サービスに要したコストと町税や使用料などその財源となる収入の状況を明らかにしたものが「行政コスト計算書」です。

行政コストは、その性質ごとに4つに分類されます。

- ◆人にかかるコスト
議員や委員の報酬と職員の給料等、全ての人件費
- ◆物にかかるコスト
施設などの管理運営（光熱水費、消耗品費、委託料）に要する経費や建物の減価償却費
- ◆移転支出的なコスト
高齢者や子どもに対する医療費支給などの給付（扶助費）や町民の皆さんなどに対する補助事業（補助金）と特別会計に支出している経費等
- ◆その他のコスト
災害復旧に要した経費及び公債費（借金の返済）に要した経費のうち利子分

その年度内に入ってきたお金は、公共施設の建設や道路の拡張などの資産形成に充てられたものと、資産形成にはつながらない（人によるものや給付によるものなど）サービスに充てられたものに分けることができます。資産形成に充てられたお金の流れがバランスシートに計上され、資産形成につながらない、つまりその年度の中でサービスが終わってしまうお金の流れが行政コスト計算書に計上されるのです。行政コスト計算書には減価償却費や退職手当引当金繰入などのように、実際その年度内にお金の動きがなくても、その年度の経費として計上するものもありますが、年度内に入ってきたお金（繰入）はその使われ方によって、必ずバランスシートか行政コスト計算書のどちらかに振り分けられているのです（図1）。したがって、バランスシートと行政コスト計算書の両方がある初めて1年間の財政状況を把握するのに役立つといえるのです。

図1

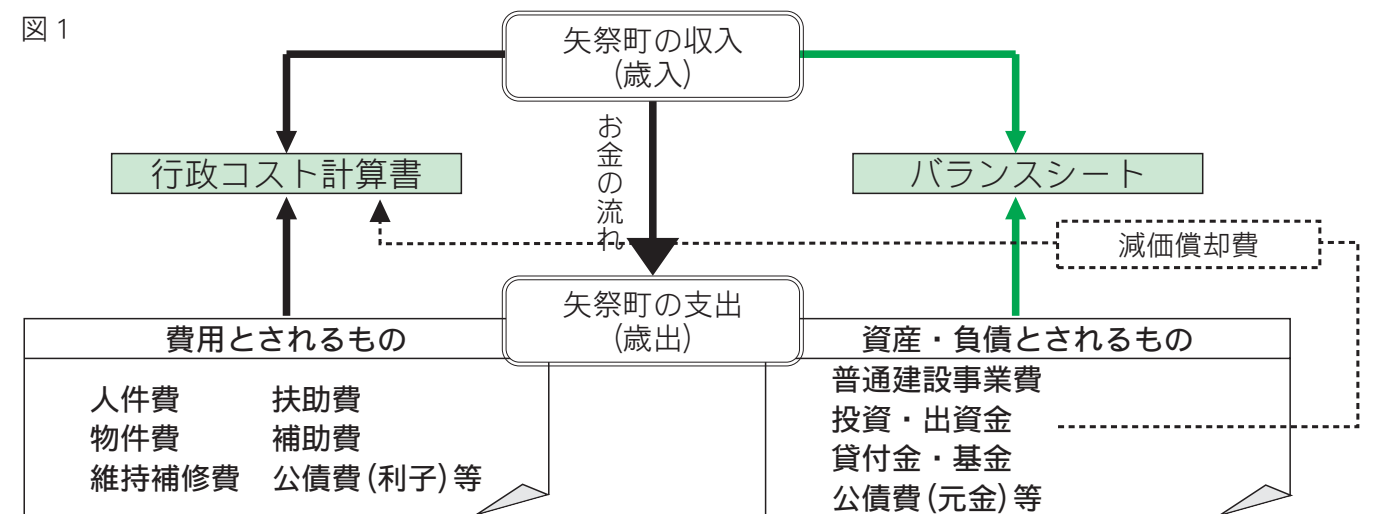


図2 行政コスト計算書

＜行政コスト＞		総額	構成比率
1	人にかかるコスト 議員報酬、職員給料等	528,692	17%
2	物にかかるコスト 物件費、減価償却費	1,413,963	44%
3	移転支出的なコスト 扶助費、補助費、繰出金	1,104,175	35%
4	その他のコスト 災害復旧費、公債費	131,110	4%
行政コスト合計 A		3,177,940	100%
＜コストの財源＞			
1	使用料・手数料等	87,167	
2	国庫(県)支出金	535,563	
3	一般財源	2,974,598	
合計 B		3,597,328	

図2をご覧ください。性質別に行政コストが分けられております。「物にかかるコスト」は14億1千万円と、コスト総額の44%を占めています。これは目に見えない町道・農道等の減価償却費や各学校管理、給食施設等の学校に要する経費等が主なものです。「移転支出的なコスト」は、11億円と35%を占めます。これは、常備消防等の広域圏や東白衛生組合への負担金や子ども手当、子ども医療費10割負担など扶助的な経費の他、震災に伴う消防費や特別負担金等も増要因となります。「人にかかるコスト」については前年度は退職者の増に伴う特別負担金により一時的に増加いたしました職員退職に伴う自然減により、年々減少してまいります。「その他のコスト」は震災や台風に伴う災害復旧費が増えています。他、主な内容は公債費になります。これらを合計すると、矢祭町の23年度にかかった行政コストは約31億7千8百万円となります。

図3では行政目的別にかかった経費を表しています。最も割合を占めるのが民生費の23%で、これは各種医療費補助などの扶助費の他に、国保や後期高齢等の特別会計への繰出金があるためです。他に多いのが教育費の17%で、各種教育支援に係る経費が要因となります。数値をみると、福祉行政と教育に矢祭町が力を入れていることがわかります。

図3 目的別行政コスト計算書 (平成23年4月1日～平成24年3月31日) (単位：千円)

区分	総額	議会費	総務費	民生費	衛生費	労働費	農水費	商工費	土木費	消防費	教育費	その他
1	528,692	5,984	260,305	32,816	4,952	0	24,413	13,520	18,677	18,072	149,953	0
2	1,413,963	2,985	194,240	93,917	63,776	42,521	329,956	185,410	136,011	28,742	336,405	0
3	1,104,175	518	61,346	597,569	133,279	0	115,674	2,496	28,681	126,556	38,056	0
4	131,110	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	131,110
計	3,177,940	9,487	515,891	724,302	202,007	42,521	470,043	201,426	183,369	173,370	524,414	131,110
比率	100%	1%	16%	23%	6%	1%	15%	6%	6%	5%	17%	4%

※区分1は「人にかかるコスト」、区分2は「物にかかるコスト」、区分3は「移転支出的なコスト」、区分4は「その他のコスト」です。
※その他は災害復旧費、公債費です。

町民1人当たりの
行政コストは...
493千円です。

矢祭町民1人当たりにかかる行政コストを、平成23年度末の人口、6,440人で計算すると、493千円となります。これを性質別に見てみますと、「人にかかるコスト」が84千円、「物にかかるコスト」が217千円、「移転支出的なコスト」が172千円、「その他コスト」が20千円になっております。「最小の経費で最大の効果をあげる」ことを目標に今後も努力し、財政公表においてわかりやすく皆様へ提示ができるようにしていきたいと思っております。

遊びがお子さんを育てます。

1月号では、メディアによるお子さんとのふれあいの時間が少なくなる危険性をお知らせしましたが、2月号では遊びの大切さについてお知らせします。

子どもは遊びが仕事

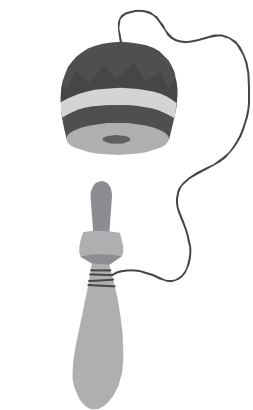
子どもにとって「遊び」は、言わば「知識の栄養」です。食べ物から得る栄養が体の成長に大切なように、「遊び」も頭と心と体のバランスの取れた成長に必要な不可欠な栄養です。子どもは楽しいと感じている時にこそ多くのことを学びます。机に向って「お勉強」として遊ぶより、楽しい遊びを通してたくさん「考える」経験を積むほうが、そこで体験した新しい発見を「知識の栄養」として吸収し、自分のものにするのが出て来ます。子どもの生活にとって、生活すべてが「遊び」であり、楽しい「学び」でもあるのです。

「よく遊び、良く食べ、よく眠る」 暮らしが、発達を促します。

指の動きが人間らしい器用さを獲得した時に、その子どもには言葉が生まれるといわれています。子どもたちが文字や言葉を獲得する以前の時期（＝乳幼児期）こそ、運動や諸器官を発達させることが大切なのです。

そのためには、子どもが、全身を使って遊びたいようになるような環境を、大人が用意することです。ただし、「こうやって遊びなさい」と指示するのはなく、子どもが自発的に「〜したい」と思う意欲・好奇心が出てきたときに、最も伸びるものなのです。

乳幼児から学童期の子どもは、仲間とともに遊びに熱中し、たくさん食べて、ぐっすり眠ることが大事です。「よく遊び、良く食べ、よく眠る」という子どもらしい生活を日々繰り返す中で、運動と感覚の諸機能を伸ばし、交わりの力を始め、多くの力を身につけていきます。



「疲れた」という子どもが増えています

今の子どもたちは小さい頃から時間に追われ、遊ぶ時間も削られています。遊ぶゆとりのない子どもの中には、「疲れやすい」「何でもないのでイライラする」といったストレスを訴える子どもがかなりいます。子どもは、ゆとりのある自由な時間を与えられることで、初めて心から遊びを楽しんだり、創意工夫したりでき、個性や創造性を伸ばせるのです。親は勇気を持って子どもたちに時間とゆとりをあたえましょう。

おもちゃの役割

子どもはおもちゃがなくても身のまわりの物を使って遊ぶ名人で、大人がびっくりするような自由な発想で遊びを考えだしますが、良いおもちゃに触れることで、より質の高い遊びが可能になります。

また、おもちゃは、コミュニケーション能力を高める働きがあります。おもちゃが手元にあると、自然に会話が生まれ遊びが始まります。兄弟と一緒にごっこ遊びをしたり、お友達とルールを決めてゲーム遊びをしたり、身近な人とコミュニケーションを深め、人を思いやる優しい気持ちを育てます。このようにおもちゃは子どもにとって単なる「モノ」ではなく、ともに遊ぶことで、感性や想像力、好奇心の育成を手助けしてくれる大切な道具です。おもちゃを与えるのであれば、五感を使い、様々な刺激をキャッチできるおもちゃや、子どもの可能性を引き出してくれるおもちゃを選んであげたいですね。カンガルーくらぶでは、1月29日、30日に毎年恒例の「ミニおもちゃ博物館」を開催しました。当日は、子どもの能力を育むグッドトイ52種類

を展示しました。子どもたちは、たくさんのおもちゃを目にして、目を輝かせながら手にとって遊んでいました。

手作りおもちゃコーナーでは、親子で望遠鏡・カスターネット・新聞紙剣玉等を作って楽しみました。グッドトイは、カンガルーくらぶで3〜4点ずつ展示しておりますので、ぜひご利用ください。

「疲れた」という子どもが増えています



何ができるかな？手づくりおもちゃ！



ママと一緒にハードル「ボン」



どっちのおもちゃもだ〜いすき！



矢祭もったいない図書館利用者
長岡美和(みわ)さん
主水(もんど)くん
 (小田川字大高平)

この本は、色々な動物がカラフルなぼうしに隠れて登場します。次はどんな動物かな？とページをめくるとたび興味をそそられます。子どもと一緒に遊べる絵本なので、何度読んでも飽きません。遊びの中から、本を好きになってくれればいいなと思う、わが家のイチおしの一冊です。

ぼうし

「家読でコミュニケーション」
わが家のイチおし
この一冊

— 矢祭もったいない図書館所蔵本から —

文 中川ひろたか
 絵 荒井良二
 出版社 偕成社

寺島 ^{やまと}大翔くん

(3月29日生まれ・山下)
 好奇心旺盛でちょっぴり甘えん坊の大翔。いっぱい遊んで、いっぱい食べて大きくなってね。(父・母より)



あそびあそび
満1歳

お誕生日おめでとう!!

柴田 ^{ゆう}結羽くん

(3月13日生まれ・高野)
 笑顔が素敵なゆうくん。これからも、たくさん笑顔で家族みんなをいやしてね! (パパ・ママより)



富永 ^{ゆな}結愛ちゃん

(3月4日生まれ・東館)
 これからも、元気にすくすく育ててね。かわいい笑顔がたくさん見せて。(父・母より)



生田目 ^{まりえ}麻理映ちゃん

(3月16日生まれ・東館)
 パパとママの元に生まれてきてくれてありがとう。麻理映の笑顔と成長が、パパとママの何よりの宝物です。(パパ・ママより)



菊池さくらちゃん

(3月26日生まれ・下石井)
 お兄ちゃん大好きなさくらちゃん♡これからもお兄ちゃんと仲良く元気に成長して行ってね。(パパ・ママより)



短歌

矢祭町短歌会一月詠草

半世紀も会わぬ少年の面影をたぐりて賀状の往還つづく
 佐川 典子

NHKの短歌大会に入選の知らせにひたすた放映待たる
 松本 精次

おちこちに株なす万年青の朱き実が素枯れし庭に華やぎを添う
 藤田 君江

風に揺れる梅もどきの枝障子戸に映して冬の西陽射したり
 藤田 啓子

老いし身に両膝術後もいたみなく「ケセラセラ」と新年を迎う
 金澤 京子

工場の交通整理に立つ人の吐く息白し寒空の下
 星 初枝

残暑ゆえに蕾固く山茶花の咲き初む花は初霜に会う
 菊池 知子

直ぐ近く新築の槌音聞きながら気の会う住人で有るよう祈る
 佐藤ミサ子

土手下の窪に住み着き冬を越す一匹の蝦蟇に落葉を寄せやる
 片野 税子

迷いなく農一筋の六十余年恵まれし健康を初日に礼す
 深谷 絹子

松飾れぬ今年を顧み神棚を拭きつつ来る年の健康願う
 佐川 文江

～将来への安心～

町内の児童たちが
 ホールボディカウンター
 による内部被ばく検査を実施

1月中旬から2月中旬までの1ヶ月間、福島県のホールボディカウンター車が来町し、町内の幼稚園から中学校までの児童らを対象に内部被ばく検査を行いました。東京電力福島第一原子力発電所事故で環境に放出された放射性セシウムなど、体内にある放射性物質から、概ね一生の間を受けると思われる線量を推計するための検査です。

まずサーベイメータによる体表汚染検査を行い、次に全身計測装置ホールボディカウンター(WBC)による全身検査の2項目を実施しました。なお、検査結果は後日郵送(同意書記載住所宛)にてお知らせいたします。



ホールボディカウンター検査
 (左写真)、サーベイメータによる検査(下写真)



TOWN TOPICS

まちの話題

身近な情報を寄せてください。 自立総務課総務グループ
TEL 0247-46-3131 FAX 0247-46-3155



摘みたていちごを食べる園児たち

2月19日、東館・石井両幼稚園児86名は、農業生産法人そらの社（金澤孝幸社長）からの招待を受け、いちご狩りを体験しました。

平成13年から続く今回で13回目となる恒例行事で、園児たちは東館字蔵屋敷地内のハウスに出かけ、熟した大粒のいちごを摘みとってはおいしそうに口にしました。

そらの社では、おやつ用にと保育所にもたくさんのおいちごをプレゼントし、関係者からたいへん喜ばれています。

甘い！いちごに
笑顔がこぼれる

子どもにこそ 最良の文化を

2月15日、内川小学校において、劇団「えるむ」と内川小全校生による合同演劇「ベッカニコおに」の公演が行われました。

次世代を担う子どもの文化芸術体験事業で、子どもたちの発想力やコミュニケーション能力の育成を図り、将来の芸術家の育成や芸術鑑賞能力の向上を目的として行っております。

普段味わうことのできないプロの劇団員との合同演劇に、会場から多くの拍手が送られていました。



熱演する児童たち

文化財！ みんなで守ろう

第59回文化財防火デーにあたる1月26日を前に、町文化財保護審議会委員と棚倉消防署矢祭分署、町消防団、教育委員会、町民福祉課により町内の文化財巡回防火査察が行われました。

防火査察は、大槻地内の御不動、稲荷神社と滝平神社の3箇所で行われ、各神社では社殿の内外物件の様子や周囲の状況を査察し、火災原因となるものがないかなど防火管理状況を点検しました。



大槻町地内の稲荷神社を査察



好天に恵まれ俳句を読むスクール生

2月3日、町中央公民館を会場に2013春・矢祭ジュニア俳句スクールが行われ、小学生とその家族21名が参加しました。

(社)俳人協会会員の山崎裕子先生と矢祭ふきの芽句会鈴木良夫さんを講師に、俳句づくりの基礎知識と約束事についてお話がありました。

その後、季語に親しもうと東館周辺をゆっくり散策しながら俳句づくりに取り組み、おもしろさを感じていました。

春よこいこい 俳句詠む

◆講師作品

春風を連れて輝く土手下る

山崎 祐子

吟行や豆撒きの喉試しみる

鈴木 良夫

◆スクール生作品

ふゆのそらひこうきぐもがきれいだな

篠田 日向

春ですよやさしくわらういぬふぐり

保住 優希

木をみあげ雲一つなく春の空

丸山はるか

雪とけて小川の水もいっぱい

猪亦 美紅

春の川楽しそうだね魚のむれ

下重舞由子

水たまり春の日さしてキラキラと

白坂 彩夏

とんびがね春の空飛ぶゆうゆうと

篠田 亜衣

海みたい冬晴れしてるきれいだな

大木 夢乃

冬晴れが冬青草を育ててる

金澤 依吹

杉の木がいっぱいばくだんつけている

金澤 美嘉

ひこうきぐも春空まっすぐどこまでも

下重香菜子

見上げればひこうき雲が青空に

保住 優歌

とんび鳴き春のおとずれ知らせてる

立花 優実

春の川魚の群れがすいすいと

近藤 葵

春感じ元気に遊ぶ魚の群れ

金澤 佳佑

滝川地区 安寧のために

1月25日、滝川開発期成同盟会（立花利夫会長）は、次年度の事業要望のため役場を訪れ、町長に陳情書を提出しました。陳情は立花会長が挨拶し、鈴木敏男事務局長から10項目の陳情内容を説明し早期対応を要望しました。次に、古張町長、古張教育長、各課長が要望に対する対応について説明を行いました。



町長へ陳情書を提出する立花会長

いつでも いつまでも学び

1月26日、平成24年度生涯学習合同の閉級式が町山村開発センターで開催されました。閉級した学級は、小学生とその保護者を対象に実施した「ふるさと探検隊」、5団体が加盟する「女性団体連絡協議会」、そして高齢者を対象に実施した「平成大学」の3学級で、出席した学級生は、学んできた1年を振り返りました。

また、町で推進している矢祭ゆめ学園学習において、今回初級・中級奨励賞を受賞された方がおり、授与式が行われました。



中級奨励賞を授与される鈴木ハナさん(戸塚)

行事 & お知らせ 情報局

平成25年度矢祭町大学 入学一時金貸付募集

矢祭町大学入学一時金貸付は、大学（入学資格を高等学校卒業以上とする専修学校等を含む。）に入学する学生の保護者で入学一時金の貸付けが必要と認められる者に対し貸付を行い、その子にひとしく教育を受ける機会を与えることを目的として募集を行います。希望される方は、次によりお申込みください。

- ◆募集定員 2名
- ◆貸付額 50万円以内（無利息）
- ◆償還方法 大学卒業後5年以内に年賦または月賦による償還とする。

- ◆資格要件
 - (1) 大学（入学資格を高等学校卒業以上とする専修学校等を含む。）に入学を許可された学生の保護者であること。
 - (2) 経済的理由により借受けを必要とする者であること。
 - (3) 矢祭町に引き続き5年以上居住する者であること。
 - (4) 前年の所得額が350万円以内であること。
 - (5) 矢祭町に居住し保証能力のある保証人を有すること。その他については、矢祭町大学入学一時金貸付規則及び同施行細則による。
- ◆提出期限 平成25年4月1日（月）
- ◆提出先 矢祭町教育委員会
- ◆その他 申請に必要な書類は教育委員会に準備してあります。詳細については教育委員会TEL(46)4580におたずねください。

自衛官各種採用試験のお知らせ

- ◆予備自衛官補募集 普段は企業等の一員として社会で活躍、いざというときは自衛官として社会に貢献、それが陸上自衛隊の予備自衛官補制度です。
- 一般公募 18歳以上34歳未満
- 技術公募 18歳以上53歳未満
- ◆試験日 4月3日（水）締切日必着
- ◆試験日 4月12日（金）～15日（月）の指定された1日
- ◆自衛隊幹部候補生募集 一般大学卒業者（予定者含む）を自衛隊の幹部候補生として採用するコース。
- ◆受験資格 22歳以上26歳未満
- ◆試験日 4月26日（金）締切日必着
- ◆試験日 5月11日（土）
- ◆お問い合わせ先 自衛隊福島地方協力本部 白河地域事務所 TEL0248(24)0372

東白川から訴えよう

県庁は県中央に 移転すべき！

自動車の移転・抹消 の手続等について

自動車税は、毎年4月1日現在の車検証に登録されている所有者（所有権留保付自動車の場合は使用者）に課税されます。廃車、下取り、壊れて使用していない、引越して住所変更した等のときは、3月末までに福島運輸支局などでの手続きが必要です。もし、手続きを終了しな

福島県の最低賃金が 変わりました

最低賃金制度とは、「最低賃金法」に基づき、国が賃金額の最低限度を定め、使用者は、この限度額以上の賃金を労働者に支払わなければならないことを目的とした制度です。最低賃金は、原則として事業場で働く常用、臨時、パート、アルバイトなど雇用形態や呼称のいずれを問わず、すべての労働者とその使用者に適用されます。

福島県の最低賃金は、平成24年10月1日から時間額664円になりました。また、特定の産業において働く人に適用される産業別賃金も変わりました。

◆お問い合わせ 白河労働基準監督署 TEL0248(24)1391

引越相談所開設のお知らせ

引越シーズンのピークとなる3月と4月の2ヶ月間、トラック事業者の団体である福島県トラック協会では、県内7ヶ所で引越相談所を開設し、電話等による引越等の相談に応じます。引越に伴う種々のサービスについて困りごとがありましたら、ご相談ください。

- ◆問い合わせ 福島県トラック協会 県南支部 TEL0248(27)3644 FAX0248(22)3687

「消防指令センター」が運用開始します

平成25年4月1日より「消防指令センター」が運用開始します。業務が開始されると次のように変わります。

- ◆各消防署（白河・矢吹・棚倉）で受付けている119番通報が、「消防指令センター」で受け付けとなります。
- ◆「統合型位置情報通知装置」により通報場所を瞬時に特定し、最も近い消防車や救急車を出動させるので、最寄りの消防署・分署に通報するより速く現場に到着できます。
- ◆聴覚・言語機能に障がいのある方、その他音声による119番通報が困難な方（原則として身体障

害者手帳の交付を受けている方）を対象に、電子メールで119番通報ができるようになります。（別途登録が必要となります）

119番通報から到着までの時間が短縮されることにより、迅速な消防・救急・救助活動が行われ、皆様の安全・安心を守ることが出来ます。ご理解とご協力を、お願いいたします。

◆お問い合わせ先 総務課通信指令準備室 TEL0248(22)2157

3月1日から7日まで 全国春季火災予防運動 が実施されます。

空気が乾燥し風も強く、各地で火災が多発します。まだまだ気温も低く寒さも続きますので、お出かけの際には暖房器具や火の元に気をつけましょう。

消防署では緊急時の通信システムの変更が行われており、2月25日より仮運用されます。「IP告知電話」で緊急通報されますと、「棚倉消防署矢祭分署」が出動中においては「不在の場合」に受付・受信されない場合がありますので、必ず「119番」で通報されますようお願いいたします。

◆矢祭町内の件数 (平成25年1月1日～2月17日現在)

- ・火災件数 1件
- ・救急出動 32件

『消すまでは 出ない
行かない 離れない』

問 棚倉消防署矢祭分署 TEL(46)2119

人の動き

2月21日現在の住民基本台帳より ()内は前月比

人口	6,380人	(-14)
男	3,120人	(-7)
女	3,260人	(-7)
世帯	2,087世帯	(-2)

●2月中の動き

	男	女	計
◇転入	1人	2人	3人
◇転出	1人	6人	7人
◇出生	0人	2人	2人
◇死亡	7人	5人	12人

矢祭町役場電話番号表(0247) FAX 46-3155

課・グループ名	電話番号
自立総務課	
総務グループ	☎46-3131
企画財政グループ	☎46-4579
税務グループ	☎46-4572
町民福祉課	
健康グループ	☎46-4573
福祉グループ (介護保険)	☎46-4581
生活環境グループ	☎46-4574
町民グループ	☎46-4577
事業課	
産業グループ (観光担当)	☎46-4576
F A X	☎46-3025
議会事務局	☎46-4578
出納室	☎46-4571
山村開発センター	☎46-2097
中央公民館	☎46-2202
教育課	
学校教育グループ	☎46-4580
生涯学習グループ	☎46-2202 FAX兼用
F A X	☎46-3400

御用のある方は、各課の直通電話をご利用下さい

今月の納税

今月は納税はありません。
税金は年度内に完納
しましょう！

福島県では東日本大震災で犠牲者となられた皆さまへの哀悼の意を捧げるため、福島県文化センターにおいて追悼式を行います。この模様を放映するとともに記帳所を設置いたします。どなた様でもご入場いただけます。

日にち：3月11日（月） 会場：白河市図書館多目的ホール
時間：①記帳所の設置 9:00～17:00 ②追悼式の中継 14:30～15:30
お問い合わせ先：県南地方振興局 TEL0248(23)1524

情報カレンダー

2013
3.4月

今月のこの1枚

子どもの笑顔がいいですね。
石井幼稚園の園児が外で元気に遊んでいます。子どもは風の子元気な子！元気が一番！



[略称] 当…当番医 山開…山村開発センター 塙…塙厚生病院

日	月	火	水	木	金	土
3 ひな祭  ◎ おおひら整形外科クリニック33-9468	4 	5 啓蟄 ● 元気づくり教室 館山荘(10:30~13:00) ● 運動教室 山開(10:00~11:00) ● カンガルーくらぶ	6  ● カンガルーくらぶ	7 消防記念日 ● 3歳児健診 山開(13:00~13:15) ● 母親教室 塙(13:30~15:00)	8 国際女性デー ● カンガルーくらぶ	9 
10  ◎ 塙厚生病院43-1145	11 ● 3ヶ月児健診・BCG 塙(受付13:30~13:40)	12 ● 運動教室 山開(10:00~11:00) ● カンガルーくらぶ	13 中学校卒業式 ● カンガルーくらぶ	14 ● 6ヶ月児・11ヶ月児健康相談 山開(13:00~13:15) ● 母親教室 塙(13:30~15:00) ● 親子リトミック 山開(14:00~14:30)	15  ● カンガルーくらぶ	16 
17 彼岸入り ◎ 木村医院46-3528	18 ● 心の健康相談会 山開(10:00~16:00)	19 幼稚園修了証書授与式 ● 元気づくり教室 館山荘(10:30~13:00) ● 運動教室 山開(10:00~11:00) ● カンガルーくらぶ	20 春分の日 ◎ あらまちクリニック33-8018	21 ● 母親教室 塙(13:30~15:00) ● カンガルーくらぶ	22 小学校卒業式及び小中学校終業式 ● カンガルーくらぶ	23 世界気象デー 
24  ◎ 和田医院33-2012	25 保育所満了式	26 ● 運動教室 山開(10:00~11:00) ● カンガルーくらぶ	27  ● カンガルーくらぶ	28 	29  ● カンガルーくらぶ	30 
31 ◎ 東館診療所46-3165	4/1 	2 ● カンガルーくらぶ	3 ● カンガルーくらぶ	4 	5 清明 保育所入所式 ● カンガルーくらぶ	6 春の全国交通安全運動(6日~15日)

本誌に掲載の写真は進呈しますので、ご希望の方は自立総務課までご連絡ください。

赤ちゃん誕生おめでとう

赤ちゃんの名前 誕生日 保護者 敬称略

赤ちゃんの名前 月日 保護者 敬称略

紺野 詩音 1/25 雄裕 東館区

金澤 心菜 2/5 真豊 実岡

おくやみ申し上げます

亡くなられた方 年齢 届出者 没日 敬称略

菊池 一郎 64 二郎 1/27 下関河内区

緑川 晴友 68 克則 1/31 下関河内区

藤田 秀和 80 和子 2/3 東館

森永 ト 78 秀和 2/9 関岡

小貫 富博 84 市和 2/10 関岡

石井 晃一 79 幸男 2/11 戸塚

戸井 初男 80 昭蔵 2/14 戸塚

星池 シツ 94 憲一 2/16 高石

菊池 龍太 78 千枝子 2/16 戸塚

豊田 龍太 89 耕一 2/17 宝塚

片野 たみ 87 勝 2/17 宝塚

あ・亡・が・き

☆商工会青年部主張発表全国大会で優秀賞を受賞された押田洋平さん、誠におめでとございます。その受賞の裏にはある出来事がありました。それは、洋平さんを一番支え続けた松本伸一郎です。発表前日の2月5日、松本部長に実の父親の悲報が入りました。それでも、洋平さん、部員たちを心配かけさせまいと皆には告げず、次の日の発表後まで気丈にふるまっていたそうです。洋平さんが受賞した優秀賞は最高の仲間からの贈り物ですね(崇)